



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月12日

上場会社名 ワイエイシー株式会社
コード番号 6298 URL <http://www.yac.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 百瀬 武文
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 宮本 忠泰

TEL 042-546-1161

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	2,984	167.8	△259	—	△274	—	△87	—
23年3月期第1四半期	1,114	△46.8	△152	—	△124	—	△59	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △71百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △136百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△9.42	—
23年3月期第1四半期	△6.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	20,868	—	11,129	—	—	51.3
23年3月期	18,442	—	10,898	—	—	59.1

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 10,708百万円 23年3月期 10,898百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,500	40.5	70	△80.4	50	△86.1	150	34.8	16.13
通期	19,000	65.2	1,650	135.9	1,600	120.1	900	127.3	96.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 株式会社デンコー、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、添付資料3ページの「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	9,674,587 株	23年3月期	9,674,587 株
24年3月期1Q	376,890 株	23年3月期	376,890 株
24年3月期1Q	9,297,697 株	23年3月期1Q	9,297,715 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー報告書を受領しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により変動する可能性があります。
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたりましては、添付資料3ページの「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の経済の動向は、米国においては雇用の改善の遅れから景気回復ペースが鈍化し、欧州においてもギリシャの債務問題が周辺諸国の財政不安に波及するなど不透明感が拡大しております。また高成長を続けてきた中国においても、インフレ懸念から金融引締めによる景気減速の傾向にあります。一方日本経済は、東日本大震災の影響、電力不足問題、そして急激な円高加速等が景気回復の足枷となり、依然として厳しい状況にあります。

このような経済状況のもとで、当社グループは、厳しい受注環境を克服すべくアジア地域を中心にグローバルな営業展開を図るとともに原価低減・経費削減に努めましたが、顧客ニーズの多様化及び価格競争等の要因が収益を圧迫いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高29億84百万円（前年同四半期比167.8%増）、営業損失2億59百万円（前年同四半期は営業損失1億52百万円）、経常損失2億74百万円（前年同四半期は経常損失1億24百万円）、四半期純損失87百万円（前年同四半期は四半期純損失59百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(産業用エレクトロニクス関連事業)

ハードディスク及び半導体関連装置分野では、新興国の自動車・家電等に係る半導体需要やスマートフォン・タブレット端末等の需要により、業績は順調に推移しました。

液晶関連装置分野では、スマートフォン・タブレット端末等の需要により中型装置を中心に売上は確保しましたが、韓国・台湾の廉価装置と競合し、収益面では低調に推移しました。

太陽電池関連装置分野では、太陽光パネルの過剰在庫に起因する生産調整による期ずれや価格競争等により、業績は厳しい状況で推移しました。

株式会社デンソーが担う加熱処理装置分野では、スマートフォン等の小型液晶パネル用装置の需要に支えられ、業績は堅調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は27億48百万円（前年同四半期比203.3%増）となり、営業損失は1億55百万円（前年同四半期は営業損失17百万円）となりました。

(クリーニング関連その他事業)

クリーニング関連分野では、ライフスタイルの変化等によるクリーニング需要の減少により、厳しい受注環境にありましたが、国内外の営業強化を図るとともに生産拠点の整備等のコストダウンに努め、売上高・収益を確保しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は2億36百万円（前年同四半期比13.5%増）となり、営業利益は25百万円（前年同四半期は営業損失24百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は168億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億36百万円増加しました。主な増加は現金及び預金15億15百万円、仕掛品8億45百万円、原材料及び貯蔵品2億95百万円であり、主な減少は受取手形及び売掛金6億99百万円であります。固定資産は39億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億89百万円増加しました。主な増加は有形固定資産4億52百万円、無形固定資産49百万円であり、主な減少は投資その他の資産2億12百万円であります。

その結果、総資産は208億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ24億26百万円増加しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は68億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億77百万円増加しました。主な増加は支払手形及び買掛金8億56百万円、短期借入金3億27百万円、1年内償還予定の社債1億40百万円、未払費用1億33百万円であります。固定負債は28億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億18百万円増加しました。主な増加は社債1億93百万円、退職給付引当金1億44百万円、長期借入金1億40百万円であります。

その結果、負債は97億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億95百万円増加しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は111億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億30百万円増加いたしました。主な増加は少数株主持分4億20百万円であり、主な減少は利益剰余金1億80百万円であります。

この結果、自己資本率は51.3%（前連結会計年度末は59.1%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く事業環境は、得意先企業の在庫調整及び製造拠点の再編、廉価装置との競合、そして急激な円高等の懸念材料が多く、依然として厳しく、予断を許さない状況にあります。これらの状況並びに当第1四半期連結累計期間の業績を踏まえ、第2四半期累計期間の連結業績予想につきましては平成23年5月13日の決算短信で公表いたしました内容を変更しております。なお、通期の連結業績予想に変更はありません。

詳細につきましては、本日(平成23年8月12日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間より、持分法適用関連会社である株式会社デンコーの発行済株式を追加取得し、連結の範囲に含めております。

(2) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,538,008	8,053,606
受取手形及び売掛金	5,775,778	5,076,597
商品及び製品	112,199	142,795
仕掛品	1,760,379	2,605,705
原材料及び貯蔵品	312,791	608,235
繰延税金資産	138,177	258,837
その他	126,471	155,247
貸倒引当金	△2,097	△2,723
流動資産合計	14,761,707	16,898,302
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,804,413	2,236,691
減価償却累計額	△1,268,233	△1,579,926
建物及び構築物(純額)	536,179	656,765
機械装置及び運搬具	60,347	227,852
減価償却累計額	△50,227	△186,953
機械装置及び運搬具(純額)	10,120	40,899
工具、器具及び備品	1,337,516	1,476,293
減価償却累計額	△1,044,641	△1,206,595
工具、器具及び備品(純額)	292,875	269,698
土地	2,054,837	2,374,622
リース資産	39,256	49,288
減価償却累計額	△17,230	△23,682
リース資産(純額)	22,026	25,606
建設仮勘定	—	1,408
有形固定資産合計	2,916,038	3,369,000
無形固定資産		
のれん	72,793	68,900
その他	24,085	77,249
無形固定資産合計	96,878	146,149
投資その他の資産		
投資有価証券	376,062	146,438
長期貸付金	68	15,958
繰延税金資産	250,809	238,202
長期滞留債権等	68,231	68,209
その他	51,206	64,754
貸倒引当金	△78,231	△78,209
投資その他の資産合計	668,146	455,353
固定資産合計	3,681,063	3,970,503
資産合計	18,442,771	20,868,805

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,658,055	4,514,867
短期借入金	687,496	1,015,213
1年内償還予定の社債	300,000	440,880
未払法人税等	12,724	7,822
賞与引当金	105,698	105,776
製品保証引当金	—	33,698
未払費用	221,527	355,390
その他	221,177	410,352
流動負債合計	5,206,679	6,884,001
固定負債		
社債	700,000	893,950
長期借入金	1,072,504	1,212,617
リース債務	19,181	20,554
繰延税金負債	85,381	75,321
退職給付引当金	460,436	604,970
役員退職慰労引当金	—	48,335
固定負債合計	2,337,502	2,855,748
負債合計	7,544,182	9,739,749
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,756,680	2,756,680
資本剰余金	3,582,276	3,582,276
利益剰余金	5,126,850	4,946,307
自己株式	△376,106	△376,106
株主資本合計	11,089,701	10,909,158
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,076	2,550
為替換算調整勘定	△200,188	△203,223
その他の包括利益累計額合計	△191,112	△200,673
少数株主持分	—	420,570
純資産合計	10,898,588	11,129,056
負債純資産合計	18,442,771	20,868,805

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	1,114,450	2,984,858
売上原価	873,149	2,721,283
売上総利益	241,301	263,575
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	140,841	199,432
賞与引当金繰入額	16,329	23,303
福利厚生費	7,500	9,060
賃借料	16,438	17,657
業務委託費	16,430	16,858
研究開発費	54,317	50,255
減価償却費	29,571	32,350
その他	112,059	174,547
販売費及び一般管理費合計	393,489	523,468
営業損失(△)	△152,187	△259,892
営業外収益		
受取利息	783	810
受取配当金	272	563
為替差益	30,160	—
受取賃貸料	2,770	2,921
その他	4,877	4,540
営業外収益合計	38,864	8,836
営業外費用		
支払利息	10,329	11,125
為替差損	—	10,688
ファクタリング料	208	14
持分法による投資損失	349	270
その他	759	1,168
営業外費用合計	11,646	23,267
経常損失(△)	△124,970	△274,323
特別利益		
負ののれん発生益	—	150,358
特別利益合計	—	150,358
特別損失		
固定資産除売却損	26	28
段階取得に係る差損	—	49,513
特別損失合計	26	49,542
税金等調整前四半期純損失(△)	△124,996	△173,507
法人税、住民税及び事業税	2,452	6,592
法人税等調整額	△68,168	△118,298
法人税等合計	△65,716	△111,705
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△59,280	△61,802
少数株主利益	—	25,763
四半期純損失(△)	△59,280	△87,566

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△59,280	△61,802
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,394	△6,475
為替換算調整勘定	△73,658	△3,034
その他の包括利益合計	△77,053	△9,510
四半期包括利益	△136,333	△71,312
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△136,333	△97,126
少数株主に係る四半期包括利益	—	25,813

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合 計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	産業用エレクトロ ニクス関連事業	クリーニング関 連その他事業			
売上高					
外部顧客への売上高	906,085	208,365	1,114,450	—	1,114,450
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	906,085	208,365	1,114,450	—	1,114,450
セグメント損失(△)	△17,323	△24,514	△41,837	△110,349	△152,187

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△110,349千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社の本社管理部門に係る費用であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合 計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	産業用エレクトロ ニクス関連事業	クリーニング関 連その他事業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,748,465	236,393	2,984,858	—	2,984,858
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,748,465	236,393	2,984,858	—	2,984,858
セグメント利益又は 損失(△)	△155,240	25,146	△130,094	△129,798	△259,892

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△129,798千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社の本社管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

当第1四半期連結会計期間より、産業用エレクトロニクス関連事業を営む持分法適用関連会社である株式会社デンコーの発行済株式を追加取得し、連結子会社としております。「産業用エレクトロニクス関連事業」セグメントにおいて150,358千円の負ののれん発生益を計上しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。